



蒲郡文化

No.214

蒲郡市栄町3番30号

蒲郡市文化協会

TEL・FAX(0533)68-5509

URL <http://www.gamagorishibunkyo.jp>

E-mail g.bunka@lion.ocn.ne.jp

今秋開催「移動美術館事業」

蒲郡市教育委員会

蒲郡市博物館長 三浦 彰 司



《待つ》アンリ・マティス

十五年前の開催時は、蒲郡市制五十周年ということで蒲郡市のシンボルカラーである青色に焦点をあてて『青・色々』と題し、海・空・山それぞれの「あお」を表現した近現代の日本の洋画作品を中心として、彫刻や海外の作品を加えた四十七点を展示しました。チラシやポスターに使用された安井曾太郎の「承徳喇嘛廟(らまびょう)」、ラウル・デュフィの「サンタドレスの浜辺」をはじめ、蒲郡出

身の広本季与丸・音部幸司両氏の愛知県美術館所蔵作品も、地元でご覧いただきました。

今回は『こころ、かたどる』というテーマを掲げて、目下、展示する作品の調整を行っている最中です。掲載作品のアンリ・マティス「待つ」は、蒲郡市では初めての展示となります。

作品がつくられたのは何かしら動機があるもので「作者が、自身の印象に残った風景や身近にいる大切な人物を描いて未永く残しておく」というのもその一例です。その作品には、作者が制作対象に抱いた「美しい」「愛おしい」、時には「哀しい」「憎らしい」などの感情が注ぎ込まれています。また、何が描かれているのかよく分からない抽象的な作品でも、温かみのある色調の作品と澱んだ色合いの作品とでは、「ほつとする」「暗い気持ちになる」など、鑑賞者がそこから受ける印象も異なるでしょう。

「感情」という言葉は、前述のように作者・鑑賞者それぞれを主体とした心の動きですが、これをひっくり返した「情感」という言葉になると、作者・鑑賞者に共通する感情を指しているように思われます。

掲載作品の「染錦桜下酒宴図大皿」のように、四季折々の風物を取り入れて制作された皿や茶碗などは、作り手と使い手を情感が結びつけているといえるのではないのでしょうか。

移動美術館事業は、素晴らしい作品の数々を近場で、しかも無料で見られる絶好の機会です。ぜひ会場へ足を運んで「何となくこれ好き」「見ているだけでぞっとする」「この感じ、秋らしいねえ」など、心のままにご覧いただけましたら幸いです。



《染錦桜下酒宴図大皿》

平成31年(令和元年)度 文協表彰紹介

4月20日の総会において次の6名の方が表彰されました。

《功 労 賞》

山本 定男 【絵画部会】



【略歴】

昭和46年文化協会発足時より入会。平成3年に運営委員。平成12年～28年常任理事(部会長)として尽力。

《功 労 賞》

牧原 克子 【俳句部会】



【略歴】

平成14年俳誌「三河」同時に文協入会。平成25年より「蒲郡文化」編集委員として現在に至る。

《功 労 賞》

松井 晨翠 【華道部会】



【略歴】

昭和53年1月文協入会。平成21年～24年、29年理事として、平成25年～28年運営委員として協力。

《功 労 賞》

田中 章子 【吟剣詩舞部会】



【略歴】

平成7年三河岳風会入会。入会と同時に幹事として、平成26年より運営委員として現在に至る。

《功 労 賞》

稲石 徳子 【箏曲部会】



【略歴】

昭和52年文協入会。平成13年～16年に常任理事、平成25年～28年に部会長、29年度～副部会長として現在に至る。

《文化奨励賞》

丸山寿津江 【書道部会】



【略歴】

書燈社展にて佳作4回。高野山競書大会にて高野山館長賞。毎日書道展にて、平成26年秀作賞、平成30年毎日賞を受賞。

総会記念公演



「創明音楽会 篠田社中」による心に響く箏の音色を聴いて頂きました。
演目(月に寄せる日本のうた・さらし風手事)

蒲郡市制施行65周年

記念式典 5月25日

華道部会が特別感謝状を授与されました。市役所の受付ロビーに多年にわたり生け花を展示して頂いた功績によるものです。

第70回全国植樹祭

6月2日、愛知森林公園にて、洋楽部会のコカリナアンサンブルが演奏されました。

平成30年度 事業報告および収支決算報告

- ・春の文協まつり 4月29日～5月27日
- ・文協講座「詩吟教室」「水墨画教室」「木彫教室」
- ・子ども文化活動「俳句出前講座」
- ・市民文化祭 11月2日～11月23日・文化財めぐり11月14日・楠若葉発行
- ・機関紙「蒲郡文化」209号～212号まで4回発行
- ・市民会館・市民病院のギャラリー・市役所玄関生け花展示
- ・文化事業31年2月17日「深草アキ 秦琴コンサート」
- ・県文連芸能大会（東三河部）7月8日新城市で開催 吟剣詩舞部会出演
- ・県文連美術展 31年1月30日～2月3日 刈谷市美術館にて開催
- ・愛知県民茶会 10月14日 豊川閣妙厳寺にて開催 竹内宗綏席主参加

【収入の部】

【支出の部】

項 目	収入額(円)	説 明	項 目	支出額(円)	説 明
1. 繰 越 金	730,820	前年度繰越金・積立金	1. 会 議 費	67,949	総会費、その他会議費
2. 会 費	2,369,600	正 会 員 1,000円×1,718名 18歳未満会員 300円×172名 特 別 会 員 5,000円×120口	2. 事 務 費	2,321,310	事務局費、旅費、印刷費 消耗品費、通信連絡費 備品費、慶弔費、負担金
3. 事 業 収 入	1,593,700	講座参加費、楠若葉投稿料 文化財めぐり、県美術展出品料 文化事業入場料	3. 事 業 費	4,546,541	機関紙発行、文協まつり、 講座、市民文化祭、県文連事業、 文化事業、文化振興、事業奨励
4. 補 助 金	1,100,000	蒲郡市	4. 予 備 費	0	
5. 負 担 金	1,500,000	市民文化祭	5. 積 立 金	140,000	周年事業費、県芸能大会費 職員退職金、文化事業費
6. 雑 収 入	49,485	利息、楠若葉売上、コピー等	6. 残 高	267,805	次年度へ繰越
収入合計	7,343,605		支出合計	7,343,605	

平成31年(令和元年)度 事業計画および収支予算

- ・春の文協まつり 4月29日～6月2日
- ・文協講座「華道教室」「コカリナ教室」「短歌教室」「俳句教室」
- ・子ども文化活動「俳句出前講座」
- ・市民文化祭 11月1日～11月23日・文化財めぐり11月13日・楠若葉発行
- ・機関紙「蒲郡文化」を年4回発行 4月15日、7月15日、10月15日、1月15日
- ・市民会館・市民病院のギャラリー展示・市役所玄関生け花展示
- ・文化事業 令和2年2月16日 蒲郡市民会館大ホール
- ・県文連東三河連絡協議会 4月25日 新城文化会館にて開催
- ・県文連芸能大会（東三河部）7月7日 豊川市文化会館にて開催
- ・県文連美術展 令和元年12月24日～令和2年1月5日 愛知県美術館ギャラリーにて開催
- ・愛知県民茶会 10月6日 半田市福祉文化会館にて開催

【収入の部】

【支出の部】

項 目	収入額(円)	説 明	項 目	支出額(円)	説 明
1. 繰 越 金	267,805	前年度繰越金	1. 会 議 費	100,000	総会費、役員会費 その他会議費
2. 会 費	2,260,000	正 会 員 1,000円×1,600名 18歳未満会員 300円×200名 特 別 会 員 5,000円×120口	2. 事 務 費	2,387,000	事務局費、旅費、印刷消耗品費、 通信連絡費 備品費、慶弔費、負担金
3. 事 業 収 入	1,727,000	講座参加費、楠若葉投稿料 文化財めぐり、県美術展出品料 文化事業入場料	3. 事 業 費	4,220,000	機関紙発行費、催事費 県文連事業費、文化事業費 文化振興費、事業奨励費
4. 補 助 金	1,100,000	蒲郡市	4. 予 備 費	23,000	
5. 負 担 金	1,500,000	市民文化祭	5. 積 立 金	140,000	周年事業、職員退職金
	15,195	利息、楠若葉販売、コピー等			
収入合計	6,870,000		支出合計	6,870,000	

《退任のご挨拶》

前会長 金原 久雄

去る四月二十日の総会で三期六年の会長職を無事終えることができました。これもひとえに会員の皆様を始め多くの方々のご支援ご協力を頂きましたこと改めて厚く御礼申し上げます。

令和二年度にはこの蒲郡市文化協会が創立五十周年を迎えます。記念誌の発行、記念式典、記念事業等々大変でしょうが中村 達会長以下皆様の結束で素晴らしい五十周年を迎えられるよう期待しております。

この六年間で印象に残ったのは市制六十周年の折り、「歌うこと、演じること」と題して倍賞千恵子に出演頂き、好評でした。以後文化事業は「歌声喫茶」等で継続し、音楽路線で継続してきました。つくづく蒲郡は「音楽の街」だと思います。

最後に事務局です。あの穴倉のような部屋から抜け出し、陽の燦々と当たる大きな部屋に引越することになりました。

蒲郡市文化協会の益々の発展と皆様のご活躍を祈念申し上げます。

《新任のご挨拶》

会長 中村 達

本年度（令和元年）より、会長に就任しました中村 達です。蒲郡市文化協会は、来年五十周年を迎えます。現在の伝統文化を踏襲しつつ、新たな分野を模索してゆきたいと思っています。会員皆さまのご協力をお願い申し上げます。

《新任のご挨拶》

副会長 竹内 慶星

この度、文芸教養部門の副会長を受ける事になりました。知りたい事、わからない事がその場で分かる時代の中で、コツコツ積み上げていく「文化という魅力をどう発信して行くのか」に取り組んでいきたいと思っています。皆様のご指導、ご協力をお願いいたします。

令和元年・二年度の役員・委員会委員

会長	中村 達	副会長	竹内 慶星（文芸・教養部門）
副会長	小林 憲三（美術部門）	副会長	佐野 哲子（舞踊・音楽部門）
文芸・教養部門【部会長】	鈴木美耶子	文芸・教養部門【運営委員】	加藤英美代
短歌	鈴木美耶子	俳句	壁谷 禮伺
華道	早瀬 恵雲	茶道	鈴木 博翠
茶月盆栽	安部 正和	水石	平岩 尚文
菊花	羽田喜久司	美術部門	服部 正昭
絵画	牧原 重夫	水墨画	壁谷 桔華
書道	吉見 房夫	写真	杉浦 才
工芸	杉浦 才	舞踊・音楽部門	吟剣詩舞
吟剣詩舞	牧野 一吉	箏曲	篠田多美子
謡曲	近藤 精一	邦楽	竹内 陸温
舞踊	西川佳久	洋楽	鈴木 清貴
監事	平田 正文	編集委員	鈴木美耶子
松本 敬三	斎藤とし子	横田 英夫	市川 勝代
杉田 翠風	杉村 淑之		

あるさと文化財の誌（十二）

補陀寺と県指定文化財

補陀寺（曹洞宗）は金平町寺中十二にあり、あじさいの里の隣にある。境内は九六二坪あり「温泉湧出の碑」が建っている。寺伝には天正年間に「夢のお告げ」により温泉を発見したとあり、寺は温泉の守護寺で「観音功德の湯」と呼ばれている。この寺はかつて天台宗鳳来寺藤本院の末寺で補陀山円通寺と名乗る大寺であった。

神龜三年（七二六）に行基作の馬頭観音像を祀って寺は栄えていたが、応仁年代に兵火に遭って寺は焼失したが馬頭観音像は残ったのである。

元和元年（一六一七）に円通山補陀寺と寺号を改め曹洞宗の寺となった。

寺記によると元和三年の再建時には形原松平家の多大な財政援助があったと記されている。

県指定の馬頭観音立像は三面六臂で、頭上に馬頭を頂き直立している。両肩・肘・足先など短ぎ付けられている。一木彫りの特徴の量感はなく、彫りは浅い。平安後期の作。像高一七二センチである。

もう一つ県指定の木像薬師如来立像は伊勢の寺から譲り受けたとされ松の一木造り表面は古色に覆われ、像の根幹部を一本から彫成し内短ぎはなく両肩以下の袖、両手首、両足先など短ぎ付けられている。頭部・体部とも奥行がなく衣文はY字型をあらわす点等古様を示す。像高八〇・四センチである。

他に寺宝として平安後期の不動明王像、毘沙門天など祀られている。境内東側に三十三観音堂が祀られている。

（写真・文 林 正夫）





写真展

5月17日～19日 参観者219名



水墨画展

5月24日～26日 参観者330名

春の文協まつり

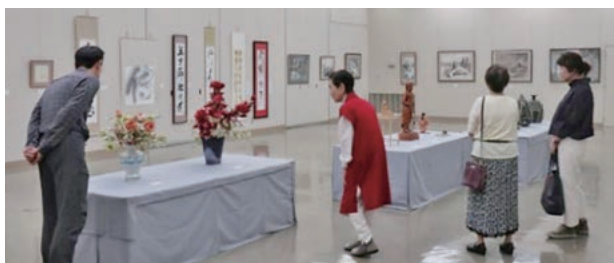
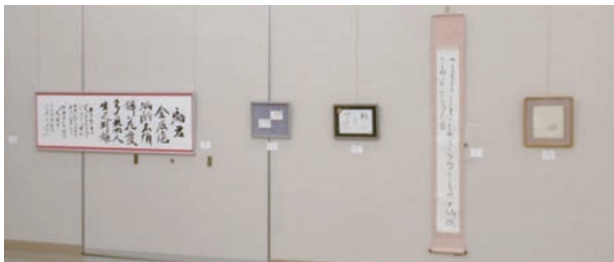
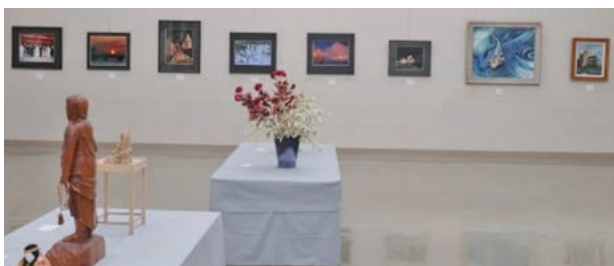
博物館ギャラリー会場



絵画展

5月10日～12日 参観者290名

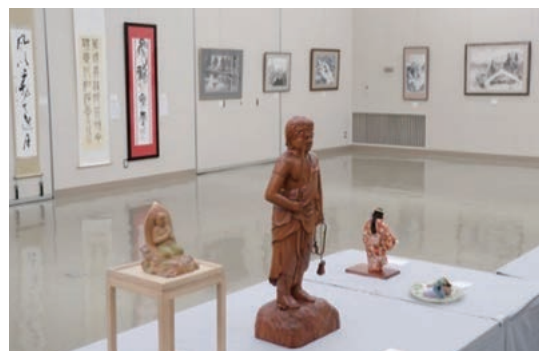
高齢化の影響か、大きい作品が少なくなったような気がする。また、会員の減少が参観者の減少にも影響があるのか…。新しい試みとして各自の作品の説明や表現したかった事なども掲示したら面白いのではと考えている。



教室講師作品展

5月30日～6月2日

例年、部会ごとに作品展が行われていましたが、今回最終週に絵画・水墨画・書道・写真・ちぎり絵・押し花・布枝・陶芸・木彫りで講師として指導している先生方27名の作品展が博物館ギャラリーで行われました。今回、春の文協まつりの一環として初めて企画された展示会でしたが、木曜日の初日から毎日100人以上の人に見に来て頂きました。また、「先生方の作品がジャンルにとらわれず一堂に見られるのはいいですね」「これからも続けてください」と多くの方々の御意見を頂くことができました。



まつり

芸能発表会 中ホール

5月19日(日)



春は、吟剣詩舞部会・謡曲部会・邦楽部会・舞踊部会の四部会の会員三百数名の人が出演をして5月19日(日曜日)に発表会が行われた。

市民文化祭の二日間と違って、春は一日の発表会と時間の少ない中、半年間のお稽古の成果を披露していた。

一日かけての発表会という事もあり、朝一番と昼ごろの参観者が少ないのが残念である。



第三十四回

蒲郡俊成短歌大会

4月29日(祝) 中ホール

愛知県知事賞

加藤芙美代

スクワット今朝もしてゐる一杯の

牛乳温めるレンジの前に

奨励賞

中村 文字

貸本屋「サザエさん」とふ店ありき

姉と語らふ懐かしき日々

藤田 隆子

くり返し秋の七草指に折る

脳よめざめよ残りは一つ

吉見 稔子

冬の夜を夫が唯一受け持ちて

入るるゆたんば足裏ぬくし

吉見 宏

ひばり鳴き仏の座咲く畦道を

今日も歩めり痛みこらへて

文協会員のみ掲載



今年度は、歌人鈴木竹志先生に「歌のいのち」という題で講演をいただきました。また、会館ギャラリーでは「三河の短歌文化」という企画展がおこなわれ、多くの方が見ていられました。



ふれあい茶会

5月12日

- ・三興庵 裏千家
(鈴木宗和・平井宗昌)
- ・中会議室 表千家(尾崎宗重)

二席で520人ほどの人がお点前を楽しんでいた。



作品にバラエティーがあり、楽しんでいただけた。



華道展

5月18・19日

大きな作品、季節の草花を使った作品に多くの参観者が見入っていた。



書道・工芸展

5月10日～12日

各社中の特色がよく出ていてよかった。



皐月盆栽展

5月18・19日

会期にあわせて花の開花を毎年調整しているが、今年は今までになく大変だったという話だった。



水石展

5月18・19日

会員は少ないが、力ある人たちの出品が多く、充実していた。

俳句大会

5月11日(土) 大会議室

蒲郡市長賞 牧野 一古

絵付師の筆よく走る麦の秋

蒲郡市議会議長賞 小田二三枝

つばめ来る同姓五戸の隠れ里

蒲郡市教育委員会賞 大場 安子

吹き晴れて八十八夜の田水照る

蒲郡市文化協会賞 立岩 宣宏

念入りに妻の背流す菖蒲の湯

中日新聞社賞 立川 美子

開帳の稚児のしんがり大あくび

中日新聞社賞 壁谷 禮伺

売値札貼られて運ぶ初鰹

蒲郡新聞社賞 金田 満子

御朱印の墨色濃かり新樹光

蒲郡新聞社賞 市川 和子

九十の今も現役草引けり

お 知 ら せ

文化財めぐり参加者募集

11月13日(水) バス2台

【行 先】 奈良（聖徳太子生誕の地を訪ねる）

橘寺…聖徳太子坐像（国の重要文化財） 橿原神宮…神武天皇の宮があったとされる地

聖林寺…十一面観音（国宝） 藤原家の氏寺・妙楽寺（現、談山神社）の別院として創建

【参加費】 8,800円（拝観料・弁当代含む）

【締 切】 10月11日（金）直接文協事務局へ、又は往復はがきにて。参加費は後日納入。

市民文化祭 短歌・俳句募集

【投稿規定】 短歌 未発表近作 1首

俳句 未発表当季雑詠 2句

【締 切】 10月4日(金)

応募はがきにて文協事務局へ、投稿無料。

初心者のための文協講座募集

【短歌】 10月7日・14日・21日・28日 毎週月曜日
午後1時30分～3時30分、市民会館第2会議室
参加費500円、申込みは9月27日(金)まで

【俳句】 11月3日・10日・17日・24日 毎週日曜日
午前10時～12時、府相公民館、
参加費千円、申込みは10月11日(金)まで

市民会館の催し物（問合せ TEL68-5509）

邦楽コンサート ひびき vol.11	8月18日(日)
第53回碩山書院一門展	8月31日(土)・9月1日(日)
月例茶会 席主：鈴木 博翠（薫風流）	9月8日(日)
月例茶会 席主：中野 宗恵（表千家）	10月6日(日)
図書館の催し物（問合せ TEL69-3706） 特別図書整理休館9月21日(土)～30日(月)	
開館50周年記念展示 人物郷土史22「大塚・中島城主の子孫、日本開国の立役者 岩瀬忠震」展	7月7日(日)～28日(日)
夏休み特別企画 読書感想文におすすめの本を紹介します!!	中学生向け7月21日(日)・28日(日) 小学生向け7月23日(火)～26日(金)・30日(火)
開館50周年記念展示2 海辺のまちの戦国時代／図書館50年のあゆみ	8月3日(土)～8月25日(日)
〈海辺のまちの戦国時代関連イベント〉 図書館・博物館特別コラボトークショー	8月4日(日) ※蒲郡市博物館 研修室にて
ちびっこ司書	8月23日(金)午後・24日(土)午前・午後
交通安全ポスター展	9月10日(火)～20日(金)
内藤勲の似顔絵ッセイ展 パート25	10月1日(火)～20日(日)
秋の特別展示 スタンプおじさんの切手大集合	10月26日(土)～11月4日(月・祝)
博物館の催し物（問合せ TEL68-1881）	
のびる子 作品展	8月3日(土)～7日(水)
SL写真とミニチュア機関車展	9月14日(土)午後～16日(月・祝)
「心にのこる私のふるさと 写真家・近藤四郎さんが写した蒲郡」	7月20日(土)～9月1日(日)
第3回「若手アーティスト支援企画」美術作品展	8月17日(土)～25日(日)
移動美術館「こころ、かたどる 愛知県美術館・愛知県陶磁美術館のコレクションから」	9月21日(土)～10月20日(日)